

資料配布の場所

1. 国土交通記者会
 2. 国土交通省建設専門紙記者会
 3. 国土交通省交通運輸記者会
 4. 筑波研究学園都市記者会
- 令和5年4月26日同時配布

令和5年4月26日
国土技術政策総合研究所

AIVC ワークショップ「気密外皮を有する建物における 高性能かつ低炭素な換気システム」の開催 ～欧米及び国内の研究者が最近の研究成果を講演～

国土交通省国土技術政策総合研究所（NILIM）及び国立研究開発法人建築研究所（BRI）は、AIVC（※）とともに「気密外皮を有する建物における高性能かつ低炭素な換気空調システム」と題したワークショップを下記の日程及び場所にて開催します。

欧米及び国内の有数の研究者が最近の研究成果について講演を行います。

（※）AIVC (<https://www.aivc.org/>) は、国際エネルギー機関（International Energy Agency）傘下の国際共同研究プログラム「建築とコミュニティの省エネルギー（Energy in Buildings and Communities）」(<https://iea-ebc.org/>) が1979年に立ち上げた、建物外皮の気密性や換気空調設備の省エネルギーに関わる研究テーマを扱うプロジェクト。日本を含めて米英仏伊蘭豪中韓など17ヶ国が参加。

記

- 【テマ】 気密外皮を有する建物における高性能かつ低炭素な換気空調システム
- 【日時】 第一日目 令和5年5月18日（木）9:00～17:05
第二日目 令和5年5月19日（金）9:00～17:45
- 【開催場所】 ベルサール三田ガーデン 会議室
（住所：東京都港区芝浦3-12-7 住友不動産田町ビル3F）
- 【プログラム】 別紙参照
- 【参加申込み】 会場（定員100名）又はリモートで参加が可能です（参加費無料）。
参加を希望される方は下記のウェブサイトから参加登録をお願いします。
（register ボタンを押してお名前など登録）
<https://www.aivc.org/event/18-19-may-2023-workshop-tokyo-towards-high-quality-low-carbon-ventilation-airtight-buildings>

ご不明な点は aivc2023tokyo@iibh.org に日本語にてお問合せください。

○取材を希望される方は令和5年5月16日（火）15時までに、以下の通りメールにてご連絡ください。

- 件名：【取材希望】AIVC ワークショップ（社名記入）
- 本文：氏名（ふりがな）、所属、連絡先（住所、電話番号）
- 送付先：下記お問い合わせ先

（問い合わせ先）

国土技術政策総合研究所 住宅研究部 建築環境研究室

主任研究官 赤嶺 嘉彦（内線4414）

TEL：029-864-3897 E-mail：akamine-y92ta@mlit.go.jp



Towards high quality, low-carbon ventilation in airtight buildings

AIVC International Workshop

Tokyo, Japan

18-19 May 2023

Air Infiltration and Ventilation Center (AIVC) 国際ワークショップ

東京田町・ベルサール三田ガーデン（R5年4月開設）会議室

2023年5月18日（木）及び19日（金）

ワークショップの概要

国土交通省国土技術政策総合研究所（NILIM）及び国立研究開発法人建築研究所（BRI）は、AIVC（※）とともに「気密外皮を有する建物における高性能かつ低炭素な換気空調システム」と題したワークショップを標記の場所及び日程にて開催します。欧米及び国内の有数の研究者が最近の研究成果について講演を行いますので奮ってご参加ください。会場（定員100名）又はリモートで参加が可能で、下記のウェブサイトから参加登録が可能です（registerボタンを押してお名前など登録、参加費無料）。

<https://www.aivc.org/event/18-19-may-2023-workshop-tokyo-towards-high-quality-low-carbon-ventilation-airtight-buildings>

ご不明な点は aivc2023tokyo@iibh.org まで日本語にてお問い合わせください。

※AIVC (<https://www.aivc.org/>) は、国際エネルギー機関（International Energy Agency）傘下の国際共同研究プログラム「建築とコミュニティの省エネルギー（Energy in Buildings and Communities）」(<https://iea-ebc.org/>) が1979年に立ち上げた、建物外皮の気密性や換気空調設備の省エネルギーに関わる研究テーマを扱うプロジェクト（アネックス5）。日本を含めて米英仏伊蘭豪中韓など17ヶ国が参加する。

プログラム(演題・講演者) ※今後変更の可能性があります。

5月18日(木)第一日目(9:00~17:05)

○挨拶

- 1 歓迎の挨拶 国土交通省国土技術政策総合研究所 副所長 長谷川貴彦
- 2 国際エネルギー機関「建築とコミュニティの省エネルギー」プログラムの紹介
建築研究所 理事長 澤地孝男
- 3 AIVC の紹介 AIVC 議長/ゲント大学 Arnold Janssens

○省エネルギー及び室内環境維持に係る施策（基調講演）

- 4 建築省エネルギーに係る日本の政策動向 国土交通省住宅局参事官 今村 敬
- 5 欧州 EPBD（建築エネルギー性能欧州指令）の動向 EPB センター Jaap Hogeling
- 6 換気空調に係る米国における規格及び規制 ローレンスバークレー国立研究所 Iain Walker

○「建築とコミュニティ」プログラム傘下の国際共同研究

- 7 アネックス 78「気相空気清浄機による換気の補助と省エネ効果」の成果概要
デンマーク工科大学 Pawel Wargocki
- 8 知覚空気質に関する試験法 ISO の開発 九州大学 伊藤一秀

9 アネックス 86「住宅のための省エネ型スマート IAQ 管理手法」の中間報告

ゲント大学 Jelle Laverge

10 健康被害に基づいた室内空気質の受容度に関する研究 ノッティンガム大学 Benjamin Jones

11 アネックス 87「パーソナル環境制御システムの省エネルギー及び室内環境質性能」の概要

デンマーク工科大学 Bjarne Olesen

12 ゼロエネルギー建築における温熱快適性及び空気質改善のためのパーソナル環境制御システム (PECS) 早稲田大学 田辺新一

○換気全熱交換システムの性能確保

13 顕全熱交換換気システムの実際の省エネルギー効果：主な設計要素及び試験結果（風量、風量比、有効換気量率）によって実際の省エネルギー効果がどのように影響を受けるか

一般財団法人ベターリビング 菅 哲俊

14 日本における全熱交換換気ユニットの最新の技術動向 三菱電機株式会社 高橋淳一

15 スマート換気システムの評価 ルーベンカトリック大学 Hilde Breesch

16 住宅用省エネルギー型換気システムの性能に及ぼす戸内温度分布とゾーニングの影響

ゲント大学 Jelle Laverge

5月19日(金)第二日目(9:00~17:45)

○外皮及びダクトの気密性

17 日本の非住宅建築物の外皮気密性向上のための今後の活動に関する提案

大成建設株式会社技術センター 樋渡 潔

18 各国における建物外皮及びダクトの気密性の動向 CEREMA（都市地域計画エネルギーエコロジーに係るフランス公的機関）Valérie Leprince

19 大規模建築の気密性試験 ローレンスバークレー国立研究所 Iain Walker

20 高層建物の外皮気密性の測定、煙突効果・空調機・玄関ドアから流入する空気量を用いた実測方法 鹿島技術研究所 武政祐一

21 CLT を用いた銘建工業社屋の気密性能試験 栄冠商事 長谷川高士

22 国際規格(ISO)9972 の概要と課題の概要 CEREMA（都市地域計画エネルギーエコロジーに係るフランス公的機関）Benedikt Koelsch

23 建築物の外皮気密性の耐久性 CEREMA（都市地域計画エネルギーエコロジーに係るフランス公的機関）Valérie Leprince

○感染症制御における換気の役割

24 呼吸器病原体のエアロゾル伝播経路とその緩和方策 工学院大学 柳 宇

25 日本における室内エアロゾル感染防止対策 北海道大学 林 基哉

26 ウイルスの濃度の計測：最近の発展（事前録画）ユニバーシティーカレッジロンドン Chris Iddon

27 室内環境に関わる ISO 規格及び欧州規格の改定について デンマーク工科大学 Bjarne Olesen

28 感染症制御における空気清浄機の役割 デンマーク工科大学 Pawel Wargocki

29 ベルギーの建築物における室内空気質及び換気を改善するための法規の整備

INIVE Peter Wouters+ゲント大学 Arnold Janssens

30 共同住宅の気密性と住戸間の気流について ローレンスバークレー国立研究所 Iain Walker

以上